



子どもたちのやる気を引き出す 魔法の言葉かけ—ペップトークに学ぶ—

岩手地区家庭教育セミナーを開催

●日 時：令和元年9月28日（土）9：45～12：05
●会 場：岩手町スポーツ文化センター「森のアリーナ」



講師の岩崎由純先生

今年度の家庭教育セミナーを岩手地区で開催しました。セミナーの講師は、「ペップトーク普及協会」代表理事の岩崎由純先生です。「ペップトーク」とは、もともとスポーツの試合前に指導者が行う短い激励のスピーチのことです。それを、家庭・職場・教育現場でも実践していこうというものです。その特徴は、次の5点です。

- 短い
 - 分かりやすい
 - 肯定的な言葉を使う
 - 魂を揺さぶる
 - 人をその気にさせる
- 前提として、普段からの信頼関係が欠かせないとのこと。岩崎先生は、その正反対の言葉かけを「プツペトーク」と名付けています。それは、
- 長くて
 - 分かりにくくて
 - マイナスイ言葉を使って
 - 魂をなえさせ
 - 人のやる気をなくす



「怖い説教」になるそうです。そして、「イメージは現実化する」「人は期待に応える」ものであるから、相手がポジティブになれる「ポジティブ語」を使い、「してほしいことを伝える」ことの大切さを話されました。

また、子どもにとって親や兄弟、生徒の先生、選手の指導者、社員にとっての上司は、夢の実現や目標の達成を応援する「ドリームサポーター」であって、伸びると信じて接するということも印象に残りました。

さらに、自分を励ます「セルフペップトーク」で、まずは自分自身がポジティブになるということも教えていただきました。

参加者からは、「参加して、本当に心から良かったと思いました」という声が多く聞かれました。事後アンケートから、いくつか紹介します。

おひつかり
10月13日（日）に、岩泉町で予定していた「宮古地区家庭教育セミナー」は、台風19号の接近・通過のため、中止といたしました。

アンケートより

○子どもにも、仕事にもとても役に立つお話をした。まずは自分に声かけ、自分とのコミュニケーションから変えていこうと決めました。

○いつも子どもたちにプツペの言葉が多かったと気づき、ペップの言葉に変えていく方法、自分が変わらないうと、と気づきました。とてもおもしろく、ためになりました。

○スポーツをしている子どもがおり、周りのマイナスの言葉がとても気になっていました。一番の味方である親がペップトークで激励できたら、最強ではないかと感じました。子どもや仕事でもたくさん活用できそうです。